

平成28年度
事業報告

公益財団法人日本ナショナルトラスト

目次

I 現況	1
1. 事業.....	1
2. 役員.....	1
3. 評議員.....	2
4. 事務局.....	2
5. 事業資金.....	2
II 理事会・評議員会	3
1. 理事会.....	3
2. 評議員会.....	3
III 事業実施の概要	5
1. 調査事業.....	4
2. 保護事業.....	4
3. 普及事業.....	9
4. ネットワーク事業.....	13
5. 団体交流事業.....	14
IV 登記事項、届出・報告・申請事項、登録事項	16
V 訃報	16
参考 アドバイザー名簿、顧問名簿、参与名簿及び観光資源専門委員名簿.....	17

I 現況

1. 事業

定款に掲げる事業は、次のとおりである。

- (1) 国民的財産として後世に継承するに足る観光資源の認定
- (2) 前号により認定された観光資源(以下「保護対象」という。)の取得及び管理運営
- (3) 観光資源に関する保護活動への支援
- (4) 観光資源に関する保護思想及び知識の普及向上
- (5) 観光資源に関する学術調査研究並びに情報の収集及び提供
- (6) 政府及び関係機関への観光資源の保護に関する建議又は陳情
- (7) この法人の健全な発展を図るために必要な関連事業の経営
- (8) その他目的を達成するために必要な事業

2. 役員

(1) 平成 29 年 3 月 31 日現在の役員

会長	梅崎 壽	東京地下鉄(株)相談役
代表理事		
副会長	川村 恒明	(公財)文化財建造物保存技術協会顧問
代表理事		
理事長	小山 正宣	常勤
業務執行理事		
理事	厚地 純夫	東海旅客鉄道(株)専務執行役員
理事	木部 義人	(公財)日本ナショナルトラスト関西支部長
理事	久保 成人	(公社)日本観光振興協会理事長
理事	栗田 亘	コラムニスト(元・朝日新聞社論説顧問)
理事	柴崎 信三	元・日本経済新聞社論説委員
理事	柴田 耕介	富士通(株)顧問
理事	杉田 房子	旅行作家
理事	杉山 篤史	(一社)日本民営鉄道協会理事長
理事	鈴木 雅和	筑波大学教授
理事	中村 達朗	前・(一社)日本旅行業協会理事長
理事	春名 幸一	西日本旅客鉄道(株)執行役員東京本部副本部長
理事	日野 正夫	東日本旅客鉄道(株)常務取締役
理事	廻 洋子	淑徳大学教授
理事	森 まゆみ	作家
理事	山村 明義	東京地下鉄(株)専務取締役
理事	山村 晋一	(公財)日本交通公社理事

監事	今村 正	税理士
監事	山科 清一	(公財)鉄道弘済会常務理事

3. 評議員

(1) 平成 29 年 3 月 31 日現在の評議員

評議員	大西 孝夫	前・(一財)休暇村協会理事長
評議員	黒野 匡彦	(一財)運輸総合研究所会長
評議員	曾我 健	(公財)NHK交響楽団名誉顧問
評議員	田川 博己	(株)ジェイティービー代表取締役会長
評議員	堤 哲	元・毎日新聞編集委員
評議員	伏屋 和彦	元・会計検査院長(元・国税庁長官)
評議員	松山 良一	(独)国際観光振興機構理事長
評議員	森地 茂	政策研究大学院大学政策研究センター所長

4. 事務局

平成 29 年 3 月 31 日現在の職員 5 名

5. 事業資金

本財団の事業資金は、事業賛助団体からの寄付金並びに個人および団体からの会費等による。

Ⅱ 理事会・評議員会

1. 理事会

(1) 第1回理事会 平成28年5月26日

開催場所 海事センタービル7階会議室

決議事項 平成27年度事業報告及び決算報告、顧問の選任、参与の選任、観光資源専門委員の委嘱、保護資産「トラストトレイン」に関する寄託契約について

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行の状況、平成28年度第2回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席12名、欠席8名。監事出席2名。

(2) 第2回理事会 平成28年6月15日

開催方法 決議の省略の方法

決議事項 代表理事（会長及び副会長）の選定、業務執行理事（理事長）選定

出席等 提案書に対し、理事20名全員の書面による同意の意思表示及び監事2名全員からの書面による異議がないことの意味表示を得た日をもって、理事会の決議があったものとみなされた。

(3) 第3回理事会 平成29年3月6日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成29年度事業計画及び収支予算、平成29年度補助金等の交付申請、特定資産の取崩、評議員会の招集の件

報告事項 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告、平成29年度第1回理事会の開催

出席等 決議に必要な出席理事の数10名、出席10名、欠席9名。監事出席1名。

2. 評議員会

(1) 定時評議員会 平成28年6月15日

開催場所 海事センタービル8階会議室

決議事項 平成27年度事業報告及び決算報告、評議員の選任、理事の選任、監事の選任

報告事項 平成28年度事業計画及び収支予算、平成27年度第2回及び平成28年度第1回理事会の決議事項

出席等 決議に必要な出席評議員の数4名、出席7名、欠席0名。同席理事2名、同席監事1名。

Ⅲ 事業実施の概要

1 調査事業

(1) 観光資源保護調査

これまでに観光資源保護調査を実施した地域の方や関係者と情報交換を行い、会報誌「トラスト報」で、「シリーズ～地域の魅力発信～」のコーナーで地域の現状とその魅力について発信を行い、好評を得た。

2 保護事業

(1) 文化財取得保護計画に基づく保護事業

① 白川郷合掌造民家(旧寺口家)の修復と管理運営（岐阜県白川村）

白川村と協働し、地域おこし協力隊の方が居住しながらさまざまな活用を考えるトライアル事業を継続して実施した。8月23日に白川郷荻町集落において守る会会長及び荻町区長、白川ボックス代表、役場担当者等と白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会を開催し、平成27年度の事業報告と平成28年度の事業計画について協議を行った。また、10月14日～15日には村で行われた「どぶろく祭り」の手伝いに職員が参加し、地元住民との交流を深めた。

≪管理運営委員会≫ 和田正人・白川郷荻町集落の自然環境を守る会会長、和田茂・JNT白川ボックス代表/荻町区長、川田裕・白川村老人クラブ長生会会長、倉嘉宏・白川村教育委員会教育長、安藤邦廣・筑波大学名誉教授、杉田房子・旅行作家(JNT理事) 他

② 動態保存車両(トラストレイン)の運行と定期点検及び修繕（静岡県大井川鐵道）

4月～10月にかけて全5回のトラストレインの運行を無事に終了した。8月20日は、次世代を担う子供たちが興味を持ってトラストレインと触れ合う機会を作るため親子ボランティアを実施し、28名の参加があった。車内アナウンス体験やクイズ大会などを行い、好評を博した。また、9月1日付けで、大井川鐵道と「鉄道文化財に関する寄託契約書」及び「鉄道文化財の運行及び普及宣伝活動に関する覚書」を締結し、蒸気機関車の動態復元を目指すこととなった。12月3～4日には、ボランティアによりスハフ客車の内装塗装作業や安全講習を実施した。2月23日に運営会議を開催し、平成28年度の活動報告と平成29年度の活動計画等について協議を行った。

<運転日> 4月16日(9名)、6月11日(7名)、7月2日(8名)、8月20日(28名)、
10月1日(8名) ※8月20日は親子ボランティア

③ 名勝旧大乘院庭園保存整備と管理事業（奈良県奈良市）

平成28年度から2カ年計画で、名勝旧大乘院庭園保護管理委員会の指導のもと、保存整備を国庫補助事業として実施している。本年度は、樹木の修復剪定、移植及び土砂流出により汀が後退した東大池西側護岸の復旧等をすすめた。また、来園者の安全を確保するために園路や柵、サイン整備も行った。整備後は、庭園を回遊することが可能となり、様々な角度から観賞することができるようになるため、来園者の増加が期待できる。来年度も継続して国庫補助を受けることが内定しており、老朽化している反り橋の架け替えをはじめ、名勝標識の設置、井戸ポンプの交換や樹木の剪定等の実施を予定している。また、園池管理については、年間を通じて概ね良好な状態を維持した。公開につ

いては、隣接するヘリテージセンター名勝大乘院庭園文化館での音楽会や講演会等の企画の効果もあり、堅調を維持した。恒例の「観月の夕べ」を仲秋の名月に合わせた9月15日に実施し、荒天にもかかわらず130人が来場した。また、「なら燈火会」「珠光茶会」「ならムジークフェスト」などの受け入れなど公的な行事の受け入れや「関西文化の日」のイベントへの参画など積極的に入園者増加に向けての取り組みを行った。

《保護管理委員会》尼崎博正・京都造形芸術大学教授(当財団観光資源専門委員)、松村恵司・奈良文化財研究所所長 他

入園者数 10,364名 ロケーション利用等 37件

* 国庫補助事業

④東京都名勝旧安田楠雄邸庭園の修理・修繕と管理活用事業 (東京都文京区)

修理・修繕事業については、10月21日に第3回構造補強検討会を開催し、松野浩一教授(東洋大学)から提案された構造補強案について議論・検討を行った。11月24日に保護管理委員会を開催し、構造補強案について承認を得た。2月20日には第4回構造補強検討会を開催し、耐震事業計画や募金計画等について協議した。平成29年度には実施設計に入る予定である。

庭園は、定期剪定を実施し、良好な状態の維持に努めた。また、管理活用事業においては、活用ワーキング会議を月に1回開催し、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会(通称:たてもの応援団)や専門家と協議を図りながら「端午(5月)」「七夕(7月)」「重陽(9月)」「人日(1月)」「上巳(3月)」の五節句行事等の各種イベントの実施や撮影等の貸館対応など適正な活用に努めた。また、東京文化財ウィークへの参加や「東京の日本庭園おもてなし協議会」(事務局:東京都建設局)の東京いい庭キャンペーンへの参画など自治体による文化的活動にも協力するとともに様々な人々と連携し、取り組みを実施した。旧安田楠雄邸庭園の管理運営に協力をいただいているたてもの応援団を観光庁長官表彰候補者として推薦したところ、20年にわたる旧安田楠雄邸庭園での活動や近隣地域での歴史的建造物保護活用の功績が高く評価され、第8回観光庁長官表彰を受賞した。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授(JNT 観光資源専門委員)、樋渡達也・前文化財指定庭園保護協議会会長、河東義之・小山工業高等専門学校名誉教授、内田青蔵・神奈川大学教授、服部勉・東京農業大学教授 他

* 一般公開 6,379名(公開日数 105日)、貸館・団体見学・マスコミ等 24件

⑤京都市指定文化財駒井家住宅の修復と管理活用事業 (京都府京都市)

修復事業については、6月22日の京都市を含めたワーキング会議で検討を行い、8月に1階の食堂、玄関、階段等について内部壁面の塗装更新工事を行った。また、特に大雨時において屋外の排水状況が悪いため、同8月に既設屋外配水設備調査を行った。今後の修理については、同ワーキング会議で検討していく。庭園の管理については、今年度から定期剪定を導入するとともに、京都造形芸術大学による庭園実習の受け入れを継続し、同大学尼崎博正教授の指導により、樹木の剪定を実施した。管理業務については、4月13日に保護管理委員会を開催し、平成27年度の活動報告と平成28年度の活動計画について協議を行った。春の特別公開に加え、「阪急友の会」会員の招待企画に協力し、叡山電鉄・阪急電車の「往復乗車券」と駒井家住宅の「入館券(兼 記念品引換券)」がセットになった「利用券」の進呈により、4月は大変多くの来館者を集めた。10月28日~11月26日の公開日に秋の特別展示を実施し、昭和初期の北白川周辺の古写真とご夫妻使用の家具等を展示公開し、好評

を得た。ボランティアのスキルアップ、モチベーションアップに向け、6月18日には大阪芸術大学の山形政昭教授、11月19日には駒井俊雄氏を講師に迎え、ボランティア向けの講習会を実施した。また、ボランティアの推薦により、市民の皆さまが京都の財産として残したいと思う京都の歴史や文化を象徴する建物や庭園として京都市から「京都を彩る建物や庭園」の認定を受けた。

《保護管理委員会》三村浩史・京都大学名誉教授(当財団観光資源専門委員)、尼崎博正・京都造形芸術大学教授(当財団観光資源専門委員)、山形政昭・大阪芸術大学教授、松井正文・京都大学名誉教授 他

* 京都市補助事業

一般公開 2,314人(公開日数 74日)、貸館・団体見学・マスコミ等 34件

⑥旧モーガン邸の管理事業 (神奈川県藤沢市)

適切な安全管理及び地域活性化の観点から、平成23年度から実施しているJNTと特定非営利活動法人旧モーガン邸を守る会による活用試行を今年度も継続的に実施した。月1回の庭園公開とイベントを実施しており、今年度も順調に推移した。日常の維持管理については、守る会との管理委託契約に基づき、1ヶ月に1回の清掃ボランティア活動を継続的に実施した。また、(一社)日本建設業連合会の社会貢献活動の一環である庭園清掃ボランティア活動の受入れを行った。

旧モーガン邸の今後のあり方については、藤沢市・守る会・JNTの三者で協議を続けてきたが、交渉が難航しており、守る会側から他の公益法人等を事業主体とする案の可能性について提案があった。これを受け、12月9日及び2月9日に開催された三者協議において、守る会から候補として推薦された(公財)横浜歴史資産調査会も出席し、四者で情報交換を行った。今後は、調査会から具体的な保存計画等の提案を受け、検討を行っていく。

《保護管理委員会》井手久登・東京大学名誉教授(JNT 観光資源専門委員)、吉田鋼市・横浜国立大学名誉教授、亀山章東京農工大学名誉教授、大野敏・横浜国立大学教授、水沼淑子・関東学院大学教授、菅孝能・山手総合計画研究所代表取締役、他

⑦文化財取得保護計画募金計画の継続

文化財取得保護計画における募金計画の成果を受けて、各保護資産においてさらに利活用を目指した修復を実施するために、経済界および関係諸団体、会員などに対し広く呼びかけを行い、募金活動を推進した。

(2)その他の保護事業

①天心遺跡記念公園及び天心墓地の保護管理 (茨城県北茨城市)

天心遺跡記念公園においては、定期的な除草、清掃作業に加え、竹垣の一部が破損したため、復旧作業を行った。天心墓地では、除草作業と月2回の点検と供花を行った。周辺の実心関連施設と連携を図りながら公開事業を促進した。

《保護管理委員会》豊田稔・岡倉天心偉績顕彰会会長、小泉晋弥・茨城大学教授、猪瀬幸己・茨城県立天心記念五浦美術館館長 他

* 北茨城市補助事業

②ED70形1号交流電気機関車の保護管理 (滋賀県長浜市)

西日本旅客鉄道(株)寄贈のED70形1号交流電気機関車について長浜市民やボランティアによる保護管理を行い、広く一般に公開している。また、平成22年度からジェイアール西日本商事(株)により商品化された「ED70-1 ナンバープレート」については引き続き、連携して販売・普及に努めた。さらに、売上げの一部を当財団に寄付することを条件にED70のイラストを利用した菓子については一昨年度から販売を開始し、引き続き販売を行った。

③巻機山の景観保全（新潟県南魚沼市）

景観保全活動として、8月19日～22日まで、ボランティアによる植生復元のための採種、追播種や登山道の整備、池塘復元等を実施した。池塘復元については22年ぶりとなり、主に手作業により浚渫とともに、流入した土砂を上流へ戻す作業を行った。

活動実施日 夏季活動:8月19日から22日

参加者総計 22名

④東日本大震災 自然・文化遺産復興支援プロジェクトの実施

東日本大震災で被災した自然・文化遺産について、地域(まち)の“シンボル”でありながら、国や地方公共団体による支援の及ぶにくいものの復旧・復興を支援する「SEEDS OF FURUSATO～東日本大震災自然・文化遺産復興支援プロジェクト～」を引き続き推進した。第四次支援事業のうち、事業が未完了となっている「三事堂ささ木店舗」（(一社)気仙沼風待ち復興検討会)について関係者と打ち合わせを行った。全体の都市計画等との調整や施工業者の確保が困難なため、事業の延長申請を受理し、平成29年度に事業に着手することになった。また、パートナー事業「尾形家修復保存プロジェクト」は、パートナー協定を締結している気仙沼・尾形家住宅保存会が主体となって、再建に向け、部材の保存のための調査を進めている。今後の展開については、関係者と協議しながら検討していく予定である。募金については、呼びかけを継続するとともに(株)ジェイアール西日本ホテル開発が所有する各ホテルで、プロジェクトへの募金を組み込んだ宿泊プラン等の販売を継続していただいた。

(ア)イベント等の実施・参加

「蓬萊島弁財天像」復興工事竣工式典出席

<日 程> 4月29日

<場 所> 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜沖

<主 催> ひょうたん島復興プロジェクト実行委員会

(イ)募金の状況

本年度は、法人75,392円、個人360,449円、パートナー事業23,000円、合計458,841円の募金が寄せられた。(平成29年3月末累計67,830,770円)

(3)ヘリテイジセンターの管理運営

①葛城の道歴史文化館の管理運営（奈良県御所市）

葛城の道散策マップや街道の神社・仏閣に関する資料、伝統行事の写真などが展示されており、葛城古道を散策するための情報拠点となっている。また、館内には休憩所とともに、集会所を備え、住民と

来訪者が交流し、歴史を活かしたまちづくりや歴史環境の保全について考える場としても活用されている。(入館者数 10,006 名)

②飛驒の匠文化館の管理運営 (岐阜県飛驒市)

拡充した展示コーナーや体験コーナー等を活用しながら、飛驒の匠の技を体感できる場として、また歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。飛驒市内の小学生を対象に「匠塾」や千鳥格子ワークショップを行った他、台湾およびイギリスから学生を受け入れ、飛驒の匠の技を体感してもらうなど、海外とも交流を図った。また、館内の環境整備として、本館2階と西館に冷房を設置した他、雑誌やテレビ取材など積極的に広報活動を行った。

(入館者数 7,317 名)

③白川郷合掌文化館(旧松井家)の管理運営 (岐阜県白川村)

管理運営については安定した体制での管理を目的に、白川村在住の JNT 会員からなる白川ボックスと管理業務委託契約を締結し、日常点検や清掃、軽微な修理、屋根のメンテナンス等を実施した。6月16日に白川ボックス総会を開催し、あわせて清掃作業を実施し、8月1日～8月31日に夏季開館を行った。8月23日には白川郷合掌文化館及び旧寺口家管理運営委員会が開催され、白川郷合掌文化館の茅葺屋根葺き替え事業についての協議などが行われた。10月29日には、白川郷合掌文化館の屋根の葺き替えを村内104名と村外53名による結によって実施し、無事終了した。屋根葺きの翌日には、白川郷の魅力を伝えるツアーを開催し、好評を得た。

(入館者数約 1,100 名) ※8月の8日間の入館者数

④名勝大乗院庭園文化館の管理運営 (奈良県奈良市)

「文化サロン」や「庭園講座」等を実施したほか、庭園との共催で仲秋の名月に合わせた「観月の夕べ」を9月15日に実施、お茶席も設け好評であった。また、恒例となった「なら燈花会」に併せた演奏会など奈良での大きな観光イベントの会場にも利用され、来館者も安定的に推移した。(入館者数 46,659 名)

⑤長浜鉄道文化館の管理運営 (滋賀県長浜市)

長浜市および長浜観光協会により、北陸線直流化 10 周年記念として企画展「長浜と敦賀を結ぶ街道・鉄道物語」が開催されるなど、積極的な活用が図られた。また、夏季には子供向けの企画展、年間を通じては長浜の鉄道史を紹介するなど、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。

(入館者数 54,176 名※長浜スクエアとしての入館者数)

⑥琴引浜鳴き砂文化館の管理運営 (京都府京丹後市)

日本や世界の鳴き砂の展示や世界各地からの漂着物などの常設展示のほか、地元地区と連携して数多くのエコツアー、ガイドウォークを実施し、地域の魅力を発信した。貝殻を使ったクラフト体験なども、人気を博し、収益に貢献した。観光客や地元の学生たちを対象に保全ツアーや総合学習などの体験型、交流型の事業も行った。また、「あなたが拾ったゴミが入場券」という恒例の環境啓発イベント「はだしのコンサート」は 24 回目となり、好評を得た。(入館者数 9,779 名)

⑦北陸線電化記念館の管理運営（滋賀県長浜市）

D51形蒸気機関車とED70形1号交流電気機関車を通年内部公開するとともに、交流電化の歴史資料等のパネルを展示した。車輛レイアウト(Nゲージなど)展示を行い、旧長浜駅舎および長浜鉄道文化館と一体となった企画、運営を行った。(入館者数 54,176名※長浜スクエアとしての入館者)

⑧村上歴史文化館の管理運営（新潟県村上市）

(公財)イヨボヤの里開発公社により、常設展に加え、山元遺跡を中心に市内の弥生時代の遺跡からの出土品の展示を行った「山元遺跡と弥生時代展」、恒例となった「城下町村上に伝わるひな人形展」等が開催され、歴史を活かしたまちづくりの拠点としての役割を發揮した。(入館者数 21,254名)

⑨四国鉄道文化館の管理運営（愛媛県西条市）

一昨年新たに建設された四国鉄道文化館南館と十河信二記念館、観光交流センターとともに形成される「鉄道歴史パーク in SAIJYO」として、地域の賑わいの拠点となっている。定期的なイベントに加え、3月末から北海道新幹線開業・予讃線にアンパンマン列車登場を記念したポスター展やクイズラリーなどを実施した。また、「いよ西条 鉄道フェスタ2016」を開催し、キャラクター列車やフリーゲージトレインの車内特別公開を行うなど、多くのイベントを実施し、来館者の増加に努めた。(入館者数 49,486名)

⑩各ヘリテイジセンター間の連携

2回目となる「ヘリテイジセンター関係者会議」を2月に開催した。地域資源を活かしたまちづくりの拠点としてのヘリテイジセンターの機能を高め、地域活性化に寄与できるよう課題を共有し、活発な意見交換を行った。

日時:2月8日

場所:学士会館(東京都千代田区)

出席者:名勝旧大乘院庭園、長浜鉄道文化館・北陸線電化記念館、琴引浜鳴き砂文化館、村上歴史文化館、四国鉄道文化館及び小山理事長、木部関西支部長

3 普及事業

(1)会員事業

①見学会・催し物等の開催

(ア)トラストトレイン

・トラストトレイン運行

＜運転日及びボランティア参加者数＞

4月16日(9名)、6月11日(7名)、7月2日(8名)、8月20日(28名)、
10月1日(8名)※8月20日は親子ボランティア

・車内塗りボランティア活動

＜実施日及び参加者数＞

12月3日～4日(5名)

(イ)旧安田楠雄邸庭園

・主催イベント

- 4月13日・・・・・・・・・・防空壕公開
- 4月30日～5月4日・・・・・・・・端午の節句
- 6月4日・・・・・・・・・・福楽寄席
- 7月2日、6日・・・・・・・・七夕の節句
- 7月9日・・・・・・・・・・新内節の夕べ
- 8月6日・・・・・・・・・・防空壕公開
- 9月の公開日・・・・・・・・北村四海作 大理石彫刻公開
- 9月17日・・・・・・・・・・語りと和楽
- 10月12日、15日、19日、22日・・・重陽の節句
- 1月7日・・・・・・・・・・人日の節句
- 3月1日～5日・・・・・・・・上巳の節句

・協カイベント

- 東京文化財ウィーク 11月の公開日「安田家の冬支度展—暖房器具の変遷—」
- いい庭キャンペーン 11月12日～12月4日の公開日（園路開放は土曜日のみ）
- 3月18日～4月15日の公開日（園路開放は土曜日のみ）

(ウ)駒井家住宅

- (3月1日)～5月31日・・・・・・・・阪急友の会「平成28年 春のご招待」
- 4月1日～9日・・・・・・・・春の特別公開(連続公開)
- 6月18日・・・・・・・・駒井家住宅講座（講師：大阪芸術大学山形政昭教授）
- 10月28日～11月26日の公開日・・・秋の特別展示
- 11月19日・・・・・・・・駒井家住宅講座（講師：駒井俊雄氏）

②会員活動の支援

当財団は会員の自主的な活動に対して、様々な支援を行った。

(ア)地域活動

- 白川ボックス／ヘリテージセンター白川郷合掌文化館の開館・建物維持管理
- 4月・・・・・・・・雪囲いはずし
- 7月26日・・・・・・・・清掃
- 8月1日～8月31日・・・開館
- 12月・・・・・・・・雪囲い
- 1月・・・・・・・・雪降ろし

(イ)サークル活動

- A. 鉄道サークル／会合等
- B. 民家・町並みサークル／ 総会、見学会、講演会、サークルニュース発行等
- 4月9日・・・・・・・・見学会「焼津市 花沢の集落・宇津ノ谷の町並み」
- 7月16日・・・・・・・・見学会「青梅」

- 9月17日……………見学会「熱海」
10月22日……………見学会「流山」
1月21日……………見学会「世田谷区・田園調布と海軍村」
3月25日……………講演会「私の民家遍歴」(講師:稲葉和也先生)

③会員増加キャンペーンの継続

関連団体及び企業の協力により、入会申込書の配布や設置、ポスター掲出等を行い、入会促進に努めた。また、期間限定で以下のキャンペーンを行った。

(ア)初年度会費無料キャンペーン

12月1日から3月31日までに入会した方を対象として初年度会費及び入会金を無料にするキャンペーンを実施した。

(イ)プラスワンキャンペーン

4月1日から5月31日まで会員の紹介者に対して入会金無料及び会報のバックナンバー無料のキャンペーンを行い、積極的にPRした。

(2)広報事業

①会報「日本ナショナルトラスト報」の発行・配布(隔月刊)

年間6回の発行で紙面の充実した会報作りを行っている。会員へ配布するとともに、事業協力者へも広く頒布し、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。

<体裁>B5 16頁 <発行部数>3,000部 <通巻>513号~518号

- 513号 特集「名勝大乘院庭園文化館 入館100万人達成！」
514号 特集「今年のしごと~白川郷合掌文化館屋根葺き決定！」
515号 特集「たてもの応援団 20年の歩み」
516号 特集「名勝旧大乘院庭園 あゆみとこれから」
517号 特集「会員優待のご案内」
518号 特集「ひとつながり未来を紡ぐ~白川郷の屋根葺き・茅刈り~」

②メールマガジンなどの普及宣伝ツールの充実

月2回程度のメールマガジンを配信し、会員および事業協力者へのタイムリーな情報発信を図るほか、ナショナル・トラスト活動の普及に努めた。(登録者数 約400名)

③広報宣伝活動の強化

(ア)「学生観光論文コンテスト」の実施

一般財団法人日本ホテル教育センターとの共催により第6回学生観光論文コンテストを実施。1月19日審査委員会がおこなわれ、51編の応募の中から厳正なる審査の結果、下記の通り決定した。また、2月21日に第45回国際ホテル・レストラン・ショー(東京ビッグサイト)会場内にて表彰式が執り行われ、拓殖大学 政経学部経済学科茂木創ゼミ4年 西澤優他2名に対し「公益財団法人日本ナショナルトラスト会長賞」を授与した。

・最優秀賞【観光庁長官賞】

早稲田大学 商学部 3年 山元康平（代表）・小川真澄・加賀妻美沙・川合悠加・和田蒼一
テーマA『日本の観光立国化に向けた地方観光推進プラン』

・優秀賞【(公財)日本ナショナルトラスト会長賞】

拓殖大学 政経学部経済学科茂木創ゼミ 4年 西澤優（代表）・藤枝永奈・小野寺愛実
テーマA『日本の「おもてなし」観光政策－乳幼児連れ観光客に優しい国を目指して－』

・優秀賞【(一社)全日本シティホテル連盟会長賞】

高崎経済大学 地域政策学部地域政策学科佐藤公俊研究室 3年 渋谷知樹（代表）・金子佳聖・
佐藤瑞恵・横山諒
テーマC『地方都市に有効な国際会議誘致の施策』

(イ)「ツーリズム EXPO ジャパン 2016」に参加

東京ビッグサイトで開催された「ツーリズム EXPO ジャパン 2016」において、9月24日に社会貢献ブースをお借りし、(一社)日本旅行業協会の協力のもと当財団のPR活動を実施した。多くの来場者に広くJNT活動への理解と協力を呼びかけた。

(ウ) 関係団体の広報協力

旧安田楠雄邸庭園について JR 東日本の各媒体において継続的に取り上げていただいているほか、東京メトロでも駅の「地域ポケット利用」等の広報協力をいただいた。駒井家住宅及び旧大乘院庭園については、JR 西日本や叡山電鉄から継続的に広報協力を得ており、保護資産及びプロジェクトを通じ、広く本財団の紹介を行っていただいた。JR 東海とJR 西日本のご協力により新幹線搭載誌「ひととき」に定期的に当財団のPR ページを提供いただき、大きな効果があった。

(3) その他普及事業

①地域遺産支援プログラム(仮称)の実施

事業のコンセプト等を検討するワーキングを立ち上げ、外部からの協力を得て、様々な検討を行った。中でも、11月実施の白川村と当財団共催イベント「われらが紡ぐ白川郷かややねプロジェクト～秋の一斉茅刈り～」の準備段階において、白川郷に関心のある東京の若手で企画会議を数回開催し、幅広い協力者を得ながら魅力的なイベント企画を練ることが出来た。11月12日の茅刈りには村内25名、村外25名が参加した。翌日は、伝統的な茅の保管方法である茅ニューウのミニチュアを作るイベントも行い好評を得た。地域遺産支援プログラムのモデル事業として行っている茅刈りは今年で2回目となり、今後も毎年茅刈りを行うプロジェクトを進めていくこととしている。

②「平成28年度 会員の集い」の開催

国登録有形文化財・学士会館にて「地域とともに」をテーマに会員の集いを開催した。永年会員

に対しての表彰、事業の報告、白川村からのご報告、ゲストスピーチとしてNPO法人尾道空き家再生プロジェクトの事例をご紹介した。また、休憩時間の拡大や交流会の実施し、会員相互の交流をより促進した。会場には募金箱を設置し、協力を呼びかけた。この時に回収したアンケートの集計結果は、5月発行の「日本ナショナルトラスト報」に同封し、会員及び関係各所に広く配布する予定である。

<日時> 2月7日

<会場> 学士会館(東京都千代田区)

<参加者数> 約40名

③永年会員顕彰

入会10周年、20周年、30周年、40周年を迎える会員に対し、感謝状と記念バッジを贈呈した。贈呈式は、「会員の集い」の中で執り行った。

④各種シンポジウムなどイベントの開催

各保護資産およびヘリテイジセンターにおいて前述の通りのイベントを開催した。

⑤講師の派遣

1月29日に開催されたNPO法人越谷市郷土研究会主催の講演会にJNT専門研究員を派遣した。

「越谷市のこれからの観光とまちづくり」をテーマとして、JNTの活動を紹介し、歴史遺産を観光資源として活かす手法などについて講演を行った。

⑥ウェブサイトのリニューアル

来年度のウェブサイト全面リニューアルに向け、「見やすいデザイン」「わかりやすいコンテンツ」「充実した情報発信」の3つの観点から、ウェブサイトの再構築を行った。(校正、画像選定など最終調整を行った。)

4 ネットワーク事業

(1)各ネットワーク事務局の運営支援と連携協力

①「全国鳴砂ネットワーク」への参加

2月6日に幹事、当財団及びオブザーバーの文化庁等で会合を行い、今年度中止となった総会や今後のネットワークの活動の在り方について検討を行った。

②「全国近代化遺産活用連絡協議会」への参加

秋田市小坂町で開催された総会・フォーラム等に参加した。

<会期> 7月20日～21日

<会場> 秋田県小坂町

③「(一社)日本茅葺き文化協会」への参加

長野市で開催された総会及びフォーラムに参加し、今年度実施予定の白川郷合掌文化館(旧松井家)の屋根葺きについて協力要請を行った。

<会期> 6月11日～12日

<会場> 長野県長野市

④「湘南邸宅文化ネットワーク協議会」への参加

会員として参画し、協力を継続している。

⑤「ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク」への参加

軽井沢市で開催された総会及び交流会に出席した。

<会期> 6月4日～5日

<会場> 長野県軽井沢市

5 団体交流事業

文化財や自然環境の保護・保全を目的とする各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を行った。また、国内の諸団体や海外のナショナルトラストをはじめとする環境保全団体等と交流を行い、情報収集に努めた。

(1) 国内交流事業

①国内保護団体との連絡連携及び情報の交換

(ア)「第54回文化財指定庭園保護協議会総会・シンポジウム」に参加

総会には、全国から文化財指定庭園の所有者や管理者など約100名が出席し、議事が行われた。また、「日本の美を伝える名園の手入れ」をテーマに公開シンポジウムでは、基調講演、事例報告、パネルディスカッションが行われ、文化財庭園の手入れや保存活用について情報や課題を共有した。

<会期> 6月23日～24日

<会場> 秋田県大仙市

<参加者> 100名

(イ)「第39回全国町並みゼミ大内・前沢大会」に参加

全国で町並み保存に関わる地域住民や研究者、専門家が年に一度集まり、情報交換や勉強を行う大会に出席した。福島県の大内宿および前沢集落の2つの重要伝統的建造物群保存地区を中心に、「町並みを次の世代へ～保存と暮らしの共存」をテーマに開催され、各地より保存、管理の事例や課題について協議した。

<会期> 9月9日～11日

<会場> 福島県下郷町・南会津町

<参加者> 約400名

②登録を行っている諸団体

(公社)京都市観光協会、(公社)国際観光施設協会、(社)日本観光振興協会、(一社)日本茅葺き文化協会、(公財)日本交通公社、特定非営利活動法人文京歴史的建物の活用を考える会、一水会(観光関係団体懇談会)、京都市内博物館施設連絡協議会、文化財保存全国協議会、文化財指定庭園保

護協議会、産業考古学会、鉄道友の会、日本鉄道保存協会、全国近代化遺産活用連絡協議会、湘南邸宅文化ネットワーク協議会、ヴォーリズ建築文化全国ネットワーク

(2) 国際交流事業

① 海外保護団体との連絡連携及び情報の交換等、国際交流の推進

本年度も歴史遺産・自然環境の保護・保全を目的とするナショナルトラスト活動を行う世界各国の各種団体と交流を図り、情報の交換、事業協力を努めた。

< 交流を図っている団体 >

英国ナショナルトラスト(名誉会員)

英国シビクトラスト(正会員)

米国ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

オーストラリア・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ニュージーランド・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

クイーンエリザベスⅡ世ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

ジョージア州ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

フィジー・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

バミューダ・ナショナルトラスト(会員証によるプロパティ相互入場協定締結)

IV 登記事項、届出・報告・申請事項

1. 登記事項

平成 28 年 6 月 29 日

・黒野匡彦評議員、曾我健評議員、堤哲評議員、伏屋和彦評議員、松山良一評議員、田川博己評議員の重任、森地茂評議員の就任(平成 28 年 6 月 15 日付)

・梅崎壽代表理事(会長)、川村恒明代表理事(副会長)の重任、見並陽一理事の退任、久保成人理事の就任、梅崎壽理事、川村恒明理事、厚地純夫理事、木部義人理事、栗田亘理事、小山正宣理事、柴崎信三理事、柴田耕介理事、杉田房子理事、杉山篤史理事、鈴木雅和理事、中村達朗理事、春野幸一理事、日野正人理事、村上詔一理事、廻洋子理事、森まゆみ理事、山村晋一理事の重任、今村正監事、山科清一監事の重任(平成 28 年 6 月 15 日付)

平成 29 年 3 月 15 日

村上詔一理事死亡(平成 29 年 1 月 6 日付)

2. 届出・報告・申請事項

平成 28 年 6 月 30 日

・事業報告等の提出(内閣府)

平成 28 年 7 月 7 日

・理事変更届出(内閣府)

平成 29 年 3 月 23 日

・理事の変更届出(内閣府)

平成 29 年 3 月 27 日

・事業計画書等の提出(内閣府)

V 訃報

顧問 高橋 壽夫様が平成 28 年 12 月 3 日に逝去(享年 92 歳)

理事 村上 詔一様が平成 29 年 1 月 6 日に逝去(享年 75 歳)

附属明細書

平成27年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成28 年6月

公益財団法人日本ナショナルトラスト

参考

アドバイザー名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

アドバイザー 大塚 陸毅 東日本旅客鉄道(株)相談役

以上 1 名

顧問名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

顧問	石原 進	九州旅客鉄道(株)相談役
顧問	石渡 恒夫	京浜急行電鉄(株)取締役会長
顧問	大須賀 頼彦	小田急電鉄(株)取締役相談役
顧問	大橋 洋治	ANA ホールディングス(株)相談役
顧問	奥 義光	東京地下鉄(株)代表取締役社長
顧問	尾関 宗園	大徳寺大仙院閑栖
顧問	小山 薫堂	放送作家
顧問	佐々木 隆之	西日本旅客鉄道(株)取締役相談役
顧問	須田 寛	東海旅客鉄道(株)相談役
顧問	須田 征男	北海道旅客鉄道(株)代表取締役会長
顧問	清野 智	東日本旅客鉄道(株)取締役会長
顧問	筒居 博司	前・(公財)日本ナショナルトラスト理事長
顧問	夏目 誠	成田国際空港(株)代表取締役社長
顧問	根津 嘉澄	東武鉄道(株)取締役社長
顧問	伏見 勝	元・報知新聞社最高顧問
顧問	松田 清宏	四国旅客鉄道(株)相談役
顧問	MARI CHRISTINE	異文化コミュニケーター
顧問	宮田 亮平	文化庁長官
顧問	村田 光平	元・駐スイス大使
顧問	山本 亜土	名古屋鉄道(株)代表取締役会長

以上 20 名

参与名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

参 与 木戸 寛孝 世界連邦 21 世紀フォーラム理事長

以上 1 名

観光資源専門委員名簿（平成 29 年 3 月 31 日現在）

観光資源専門委員	尼崎 博正	京都造形芸術大学教授
〃	井手 久登	東京大学名誉教授
	河東 義之	小山工業高等専門学校名誉教授
〃	大塚 初重	明治大学名誉教授
〃	西村 幸夫	東京大学教授
〃	三隅 治雄	東京文化財研究所 名誉研究員
〃	三村 浩史	京都大学名誉教授
〃	宮脇 昭	横浜国立大学名誉教授

以上 8 名